

※PLACIA…中小企業等へのプラズマ技術の普及を通して、地域の産業振興に貢献するという
目的で設立されたセンター

※PLAM…プラズマ技術の産業応用に関心のある企業の方々を会員とする研究会

月刊 PLACIA : 今月の Topics

「PLACIA とともにステップアップ一年頭のご挨拶ー」

財団法人名古屋産業振興公社 プラズマ技術産業応用センター (PLACIA) 長 久米 道之

1. 特集 : PLACIA の歩みと活動～月刊 PLACIA 第 30 号記念～
2. 企業対応状況ー技術相談・機器利用実績ー
3. 事務局より

「PLACIA とともにステップアップ一年頭のご挨拶ー」

財団法人名古屋産業振興公社 プラズマ技術産業応用センター (PLACIA) 長 久米 道之

皆様、明けましておめでとうございます。

穏やかな新春ですが、我が国にとっては昨年来の多くの重い課題を背負っての、復興に向けた新しい年の始まりでもあります。原発事故は科学技術への信頼を打ち砕きましたが、修復し、人々の安心・安全を取り戻すのも、また科学技術の役割です。叡智がこの高い苦難のハードルを乗り越え、再び科学技術への信頼が蘇ることを期待するとともに、微力ながらでき得ることに尽力していく覚悟です。

さて、PLACIA は本格的な活動を始めてから約 3 年が経過します。この間、地域の中小製造業をはじめとする関係各位のご支援ご協力をいただき、順調に成長を続け、PLACIA の研究会組織であるプラズマが拓くものづくり研究会 (PLAM) は、昨年度末で企業会員 290 社、総会員数 636 名に達し、なお増加の一途を辿っています。技術相談件数も年間 300 件に及ぶ勢いです。それだけ皆様方の関心が高い、現在そして将来に向けて課題解決を図りたい、競争力のある技術開発への意

欲を感じます。固より、プラズマ技術はプラズマを構成するイオン、電子、中性ラジカル等のエネルギーを利用して物質を変化させ目的を達成するものです。プラズマは気体の中で生起します。PLACIA はプラズマの特性に留意し、ものづくりのニーズとのマッチングを図り、技術を融合させることで、オンリーワン技術に繋がたいと考えます。そして、何故そうなるのかを明確にして次のステップを見据えます。PLACIA 事業展開の中核は大気圧・低温プラズマの産業応用です。PLACIA はこの理念を堅持し、地域中小製造業のものづくりイノベーション拠点として機能すべく、全力を挙げて取り組みます。今年の干支、龍（りゅう）に因んで PLACIA の心を詠めば、

理を基に 融合させて 打ち立てる

1. 特集：PLACIA の歩みと活動 ～月刊 PLACIA 第 30 号記念～

●月刊 PLACIA は、第 30 号を迎えます！

創刊は、PLACIA 本格稼働から間もない平成 21 年 7 月。PLACIA の活動と共に歩んできました。各界の著名な方々に多くの巻頭言をお寄せいただいたほか、「PLACIA の機器紹介」「プラズマ技術の基礎」「若手研究者インタビュー」などの特集、プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）の講演会情報など、毎号皆様にお伝えしてきました。

そしてこれからもより一層、皆さまに PLACIA とプラズマ技術に関する情報をお伝えして参ります。取り上げて欲しい記事などございましたら、

【 E メール：placia@nipc.city.nagoya.jp 】

までご連絡ください！

第 30 号では、これまでの PLACIA の歩みを振り返りながら、活動実績について紹介します。これを機に、ぜひぜひもっと PLACIA をご活用ください。PLACIA は今年もがんばります！



＜月刊 PLACIA バックナンバーは HP でご覧いただけ

ます＞ <http://www.nipc.city.nagoya.jp/placia/monthly.html>

●プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）：平成 21 年 2 月に本格稼働、もうすぐまる 3 年です

PLACIA は、知的クラスター創成事業第 I 期の成果を、名古屋地域の中小企業に技術移転することを目的に、名古屋市によって設立されました。財団法人名古屋産業振興公社が事業を運営しています。地方自治体がこのような機関を設置するスキームは全国的にも珍しいです。

平成 20 年 4 月に事務所を開設、8 月に一部業務をスタートし、平成 21 年 2 月の開所式開催と共に、本格稼働となりました！

●プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）：会員数 600 名以上！

プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）は、PLACIA の設立に先立って発足しました。PLAM 会員になることが、PLACIA を利用する条件となっており、平成 20 年度末は 84 名だった会員も、現在では 600 名を超えています。これまでに、技術講演会、実習研修会、国際シンポジウムと合わせて 34 回の研究会を開催しており、延べ 2,579 人の方が参加されています。



第 35 回研究会（会員限定の実習研修会）は特に人気があります！

＜Q & A＞

Q：どんな人が会員になっているの？ 会員になる条件・会費は？ 会員になるとよいことがあるの？

A：会費は無料！プラズマ技術に興味のある方ならどなたでも会員になっていただけます。

中小企業の方が多いですが、大企業の方、大学の方、個人の方でも会員になることができます。また、技術相談・機器トライアルなど PLACIA のサービスを受けることができるほか、PLAM 事務局からのメール配信により、技術講演会、実習研修会などの情報をいち早く受けることができます。

※会員数（平成 23 年 12 月 31 日現在）：636 名（内、企業会員 290 社 515 名）

Q：入会方法は？

A：氏名・所属・連絡先を明記のうえ、プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）事務局までどうぞ。

【お申込み】PLAM 事務局宛（財団法人名古屋産業振興公社プラズマ技術産業応用センター内）

E-Mail：plasma@nipc.city.nagoya.jp FAX：052-739-0682

* 過去の PLAM の活動を、HP で見るができます。

<http://www.nipc.city.nagoya.jp/placia/plam.html>

●技術相談・機器トライアル：累計 技術相談 830 件、機器トライアル 1,351 件

毎月誌面で報告している、技術相談・機器トライアル件数は、平成 20 年 8 月に技術相談・機器トライアル業務を開始してから平成 23 年 12 月末までの累計で、それぞれなんと 830 件、1,351 件なのです！とても多くの皆様にご利用いただいています。

＜Q & A＞

Q：利用の条件は？

A：プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）の会員なら、どなたでもご利用いただけます。

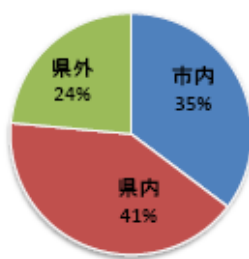
PLACIA は、PLAM 会員ならどなたでもご利用いただけます。技術相談は無料、機器トライアルも、まずは無料で行うことができます！

※無料機器トライアルの結果、より高い研究フェーズに進む場合は、PLACIA の研究者が共同して研究開発にあたる「可能性トライアル」（有料）という制度があります。

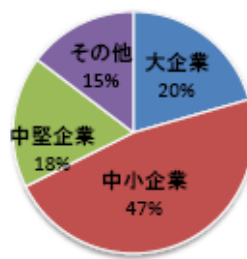
Q：どのような人が利用をしているの？

A：名古屋市内、愛知県内の中小企業の方が多いですが、それ以外の方にもご利用いただいています。

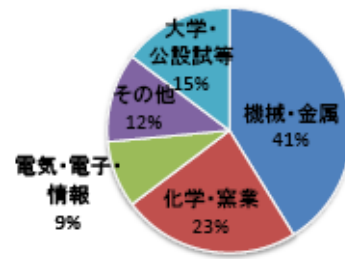
右図は、今年度 12 月末までに技術相談・機器トライアルを利用された企業等の所在地、規模、業種です。市内、県内の方はもちろん、県外の方にも、また、規模、業種とも幅広くご利用いただいています。



(所在地)



(規模)



(業種)

Q：利用するにはどうしたらいいの？

A：まずは技術相談票にご記入いただき、PLACIA までお送りください！

※HP よりダウンロードできます。 http://www.nipc.city.nagoya.jp/placia/facility_usage.html

＜1 枚目：基本情報記載＞

技術相談依頼票	
① 依頼日	平成 年 月 日
② 依頼者	会社・機関名 事業所・工場名 所 属・役 職 氏名（ふりがな）
③ 連絡先	電話・FAX E-Mail URL 所在地
④ 企業情報	資本金・従業員数 業種（主要業種） ⑤ ⑥ 業務内容

＜2 枚目：相談内容記載＞

相談内容	基 材 ⑦	用 途 ⑧	処理目的 ⑨
相談内容			

＜基本情報＞①～⑥

①：依頼日

※記入した日をお書きください。

②③：依頼者・連絡先

※ご担当者の所属、連絡先をお書きください。

④：資本金・従業員数

⑤：業種

※該当部分に○をつけてください。

⑥：業務内容

※主な業務内容、担当部署の業務内容をお書きください。

＜相談内容＞⑦～⑨

※一番重要な部分です！

なるべく具体的にお書きください。

⑦：基材 ⑧：用途 ⑨：処理目的

【技術相談票送付先】財団法人名古屋産業振興公社プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）宛
E-Mail: placia@nipc.city.nagoya.jp FAX：052-739-0682

* 記載方法等、ご不明な点がございましたらお問合せください（TEL：052-739-0680）。

●研究開発事業費補助：創造的プラズマ技術産業応用研究開発事業費補助金

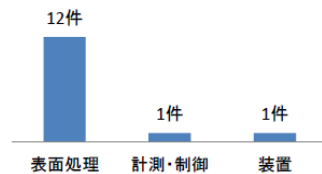
名古屋市をはじめとする愛知県内に研究実施拠点のある企業のプラズマを使った技術開発に対して、一部事業費を負担しています。平成 20 年度から平成 22 年度までに 6 件実施し、実用化に至った事業もあります。平成 23 年度は 3 件を実施中です。

※平成 24 年度の募集情報は、月刊 PLACIA でもお知らせします。

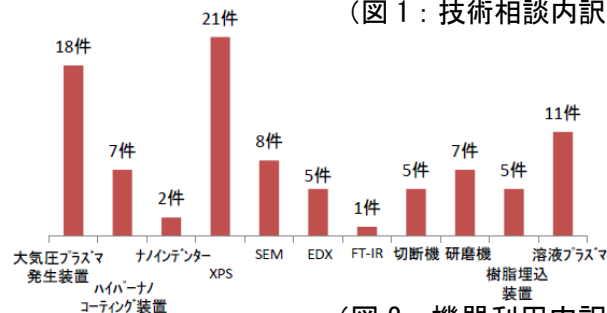
2. 企業対応状況－技術相談・機器利用実績－

12月 は PLACIA の技術相談が 14 件、機器利用が 90 件（共に延べ数）でした。詳細は図 1、図 2 をご参照ください。

* PLACIA は、皆様の技術的なお手伝いをいたします。ご利用の希望がありましたら、「技術相談票」にご記入のうえ、PLACIA 宛にお送りください。折り返し担当よりご連絡いたします！



(図 1：技術相談内訳)



(図 2：機器利用内訳)

3. 事務局より

●第 30 回プラズマが拓くものづくり研究会 参加申込み受付中！

環境に優しい技術、「液中プラズマ」がテーマです。ぜひご参加ください！！

日 時：平成 24 年 2 月 1 日（水）14：00～17：00 *17：15～ 情報交換会

会 場：サイエンス交流プラザ大会議室 参加費：無料（情報交換会は有料/1,000 円）

テーマ：液中プラズマ技術とその産業応用事例

講 師：愛媛大学大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授 野村 信福氏

三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 主席研究員 太田 幸治氏

* 詳しい内容は HP をご覧ください。

http://www.nipc.city.nagoya.jp/placia/placia_pdf/kouen30.pdf

●今月の PLACIA

新しい年を迎えました！皆様にとって、平成 24 年が良い年となりますようお祈りいたします。今年も PLACIA は力を合わせて、ものづくりの現場のお役にたてるべくがんばります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。そして月刊 PLACIA は、次号より 2 号連続で海外のプラズマ機関訪問記を掲載します。お楽しみに！！



マメナシ：1 月 6 日撮影

※絶滅危惧種で、国内では希少な樹木です。



カワウ：1 月 6 日撮影

※ウは通常黒色ですが、繁殖期には頭と腰が白い婚姻色になります。左の個体はすっかり恋の季節？

平成 24 年 1 月 16 日発行 編集・発行：プラズマ技術産業応用センター (PLACIA)
〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2268-1 お問合せ：Tel. 052-739-0680 Fax. 052-739-0682
E-Mail: placia@nipc.city.nagoya.jp

★PLAM 会員随時募集中！！氏名・所属・連絡先を明記のうえ、plasma@nipc.city.nagoya.jp までどうぞ！